

放射線利用推進専門部会における国立機関原子力試験研究費の評価について

平成11年5月17日
放射線利用推進専門部会

放射線利用推進専門部会では、平成9年8月に内閣総理大臣決定された「国の研究開発全般に共通する評価の実施方法の在り方についての大綱的指針」を踏まえ、昨年3月の第8回本専門部会において本専門部会における評価の進め方を決定し、昨年6月に国立機関原子力試験研究費の事前評価を実施したところであるが、評価の実施方法に対する委員からのコメントを元に、以下のとおり実施方法を改める。

1. 放射線利用推進専門部会の下に設けるワーキンググループにおいて、各研究実施機関から提出される研究課題の、事前、事後評価及び中間評価を行う。
2. 評価方法については以下のとおりとする。

①A B Cの3段階評価とする。

②A B Cは、評価ワーキンググループの提言として、それぞれ次のような意味を表す。

A：計画どおり実施すべき課題

B：計画に一部修正が必要だが、実施が望ましい課題

C：計画に再検討を要する課題

③ただし、評価をどのような観点で行うかは、各分野の事情に合わせて、各評価ワーキンググループが決める。

なお研究機関での評価結果の様式を統一し、また評価ワーキンググループが予算内容についても提言できるように、評価資料には年次計画及び積算等を加え、チェックシートに予算に関する項目を含める。

3. ワーキンググループは評価の結果をとりまとめ、放射線利用推進専門部会へ報告し、専門部会の了承を得る。また放射線利用推進専門部会は、評価の結果を簡潔にまとめ、公表する。
4. なお、単年度予算要求額500万円未満を目安とする小規模な予算の研究課題については、ワーキンググループにおける評価作業を書面のみで実施するなど簡略化する。

1. 第1ワーキンググループ(生物・医学・環境)

主査	武部 啓	近畿大学原子力研究所教授
副主査	佐々木正夫	京都大学放射線生物研究センター教授
	井尻 憲一	東京大学アイソトープ総合研究センター助教授
	井上 弘一	埼玉大学理学部生体制御学科教授
	小野 哲也	東北大学医学部教授
	川西 正祐	三重大学医学部教授
	北村 敏	東京電力(株)電力技術研究所送変電グループ グループマネージャー
	小佐古敏荘	東京大学原子力研究総合センター助教授
	佐々木武仁	東京医科歯科大学歯学部教授
	嶋 昭紘	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
	鈴木 紀夫	東京大学医学部教授
	中沢 正治	東京大学工学部教授
	中西 孝	金沢大学理学部教授
	二階堂 修	金沢大学薬学部長
	野村 大成	大阪大学医学部教授

2. 第2ワーキンググループ(工業利用)

主査	井澤 靖和	大阪大学レーザー核融合研究センター教授
副主査	藤田 薫顕	京都大学原子炉実験所教授
	石井 慶造	東北大学大学院工学研究科量子エネルギー工学専攻教授
	今崎 一夫	(財)レーザー技術総合研究所第4研究部長
	榎田 洋一	名古屋大学大学院工学研究科助教授
	桜井 弘	京都薬科大学薬学部教授
	高橋 浩之	東京大学工学部システム量子工学科助教授
	田川 精一	大阪大学産業科学研究所教授
	豊田 浩一	東京理科大学基礎工学部教授
	白田 耕蔵	電気通信大学教授
	長谷川雅幸	東北大学金属材料研究所教授
	福永 俊晴	京都大学原子炉実験所教授
	望月 孝晏	姫路工業大学高度産業科学技術研究所教授
	森 博太郎	大阪大学超高压電子顕微鏡センター教授
	渡部俊太郎	東京大学物性研究所教授